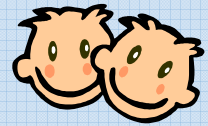
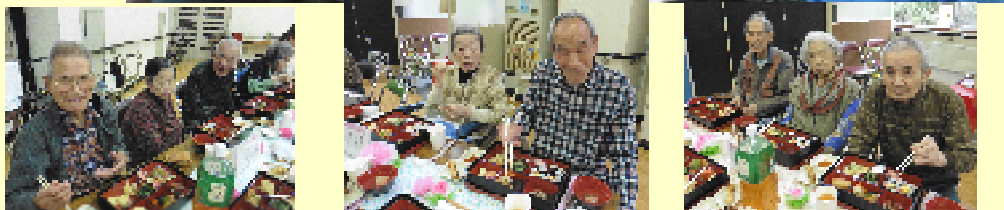


春・到来!



す が お



No.63

養護老人ホーム
松楓園 情報誌

新年度を迎え

桜が満開となり、気持ちも華やいだ季節となりました。

先日三月二〇日の役員会にて、二十七年年度の事業計画及び予算が承認されました。引き続き措置費は、現状のまま、経営は厳しい状況となること及び設備の老朽化が進みます。

今年度は、利用者の皆様の生活に支障をきたさないように屋上防水修繕工事及びバナースクールの入れ替え工事を計画しております。

二十七年度も基本理念を基に経営基盤の安定化及び効率化を目標に措置控えの問題を抱えながらの利用率の安定、

また老朽化による建物及び設備の計画的な保守管理の強化に努めてまいります。

更に運営方針八項目を掲げ、再生養護老人ホームとして、地域包括ケアシステムとの役割を明確にしていき、ソーシャルネットワーク機能強化型の中間施設と位置付け、地域で暮らす社会的援護を要する高齢者への生活支援施設としての役割を担えるよう取り組んでまいります。

年々、認知症・精神疾患者・知的障害者また社会的適応困難者の入所者が増える状況ですが、今後も職員一人ひとりが自己

啓発に努め、責任ある生活支援 生活介護サービスが提供出来るよう教育体制を強化してまいります。

今年度は、五月一日で、創立六〇周年を迎えますが、これも偏に数えきれない多くの方々からの長年にわたるご支援、ご厚情の賜物と存じ心から感謝申し上げます。これを機に役員一同、初心に返り、地域社会に求められる施設としての支援サービスが展開出来るよう一丸となって取り組んでまいりますのでより一層のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

副施設長

内田京子



科学的体操教室

介護予防への取り組み



～体力測定～

- ①足のサイドステップ(敏捷性)
- ②腕上げの角度(柔軟性)
- ③10メートルの歩行(持久力)



昨年度の新たな取り組みとして、体操教室では活動成果の測定・数値化による科学的体操教室を掲げ、8月と3月に利用者の体力測定を実施致しました。今年度は、今回の測定結果を分析しながら効果的な体操教室を実施し、介護予防効果を高める事を目標に取り組んで参ります。

脳の健康教室



脳の健康教室修了式

脳の健康教室では、地域のボランティアさんにもご協力頂き、現在10期16名の利用者の皆さんが読み・書き・計算・数字並べなどを行いながら、介護予防に励んでいます。参加されている皆さんは空いている時間を使い、教室の時間以外にも課題に取り組む姿が見られています。



転倒予防講習会



3月16日、危機管理運営委員会主催の「転倒予防講習会」を実施し利用者の皆さんに施設内で実際に起きた転倒事例を職員による実演を交えながら紹介しました。引き続き転倒事故防止への意識向上に取り組んで参ります。



外出支援

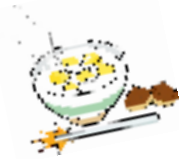


4月5日、あきる野市役所にて行われた「みんなで童謡と唱歌をうたいまショー」に参加し、素敵なハーモニーと楽しいひと時を過ごしました

《職員研修・メンタルヘルス講習会》



介護労働安全センターの大嶋千亜紀先生をお招きし、「ストレス対策」の講習会を開催しました。考え方の主体を変える事でストレス解消になる事を学ばせて頂きました。



利用者投稿コーナー

・我が園は

万葉の桜花 天も青

・磯海苔は

従兄弟の手もみ 今朝の膳

杉山とめ子様

思い出しい記憶

原澤 マチコ様

今から何年前になるのか、昭和三〇年頃だったと思います。まだ物も充分にない頃でした。中野も江古田の外れで、家の前はトウモロコシ畑でした。

お隣はその頃でも珍しく七面鳥を飼っていましたが、ご主人は事業をやっているらしく、テレビも早々に入れられ近所の人は皆観せて貰っていました。

母は食べ物を作るのが大好きで当時珍しい肉まんやあんまんを沢山作り茶箆筒に保存していました。

カレーライスも得意で玉葱をみじん切りにして、よく炒めリングも擦って入れて近所の人が作り方を聞きに来たりしました。お隣は、ご夫婦に子供さんも五人居てみっちゃんと言う叔母さんもありました。大所帯の為、母は大きなお釜に栗御飯をお釜ごと差し上げたようです。

・雪どけの庭に芽を出す水仙が

蕾愛らしここに

春を呼ぶ

青木 浩世様

晩年叔母さんがお釜ごともらったのは初めてだったと、よく言っていました。

栗は皮に傷を付けてガスで直接焼き皮を剥き塩・醤油・みりん味付けて炊きました。母は米寿を迎えて亡くなりましたが、兄は母は料理の達人だったと思いが語りました。友達が家に来た時に中華そばと揚げた焼きそばをご馳走になった事は今でも忘れないと言ったそうです。焼きそばもお皿にあふれるばかりの大盛りでした。



私も七〇才になりますが、久しぶりに会った友達がお母さんにご馳走になったと、私も憶えていない事を言われ、人にご馳走するのが好きだったのだなと懐かしく思い出されました。

編集後記

ようやく暖かな春を迎え、松楓園でも、また新たな気持ちで新年度を迎える事が出来ました。

節目の今年度も、趣向を凝らしながら松楓園利用者皆様の様子・施設の取り組みなどをお伝えして参りたいと思しますので、よろしくお願い致します。

広報誌編集委員会

発行者 社会福祉法人松楓会
養護老人ホーム松楓園
住所 東京都 あきる野市
菅生1159番地
電話 042-558-7010(代)

<http://www.shohuen.jp>